原っ子

学校だより №42（通算85号）
令和６年２月９日
小郡市立大原小学校
校長　山本貴澄　Tel 72-5500

合言葉「チャレンジ！ みんなで学ぶ やりとげる」
２月前半のめあて「時間を守って生活をしよう」※時計を見て行動！

【馬頭琴を弾かせていただきました！】

６年生 総合的な学習「人権のまち小郡」
～小郡市人権教育啓発センター見学～

先週の２日（金）に６年生が小郡市人権教育啓発センターに見学に行きました。「人権」やセンターの役割などについて、職員の方からとても分かりやすくお話ししていただきました。「一人ひとりが大切にされ、安心して、自由に、幸せに生きられる権利」＝「人権」が確かに守られる社会をつくるために何ができるか考え行動できるよう学んでいます。

【学習後の感想】

人権について一人ひとりが生まれたときからもっている権利ということしか自分で説明できなかったけど、人権についてくわしく教えてもらって人権に関する知識が増えたから、いろいろな人にまだ人権を侵害されている人がいるということを伝えたい。

上杉佐一郎さんは、差別で苦しむ人が世界にいなくなってほしいと考えて世界で差別をなくす取組を続けたのだと改めて聞いて、やっぱりすごいと思った。私は、自分もまわりの人も差別を受けることがないように自分自身がうかつに情報を信じないようにしたり、すぐ流されないよう自分をもっていたいと思う。そして、うその情報をかんたんに流したり、いじめをしたりする人にはなりたくない。

今回学んだことは、一生心に残しておきたいし、学んで大切だと思ったところを家族や友達にも伝えていきたいと思った。そして、世界中の人が人権が侵害されることのない、上杉佐一郎さんが目指したような世界になるよう、身の回りでできることをしたい。

【情報室でのお話】

【上杉佐一郎顕彰碑の前で】

２年生 国際理解教育
～モンゴルについて学びました！～

２年生は国語で「スーホの白い馬」の学習をしています。物語には、白馬と少年スーホの悲しく切ないお話とモンゴルに伝わる楽器「馬頭琴」の由来が描かれています。モンゴルがお話の舞台なので、先週の金曜日、モンゴルで植林活動をされている坂本さんと馬頭琴演奏家のマンダルワさんから、モンゴルについてのお話と馬頭琴の演奏をしていただきました。子どもたちはみんな興味津々で、２時間の楽しい授業があっという間に終わってしまいました。この学習をきっかけにして、モンゴルや世界の国々に関心をもつ子が増えてくれるとうれしいです。

【坂本さんとマンダルワさんへのお礼の手紙】

今日はおいそがしい中、モンゴルのことを教えに来てくれてありがとうございました。モンゴルは草原のイメージがあるけど、さい近、さばくになっていることは、はじめて知りました。しおがたくさんとれるのは知っていたけど、チーズもとれることは知りませんでした。馬頭琴の音は、はじめて聞きました。「一日のつかれをわすれる」と教科書にのっていたけど、本当に近いぐらいつかれがとれました。（恐竜の）か石があって、足あともあるのは、はじめて聞きました。一おく年い上もむかしのようすがのこっていて、見に行ってみたいなと思いました。